

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月6日
東

上場会社名 国際計測器株式会社 上場取引所
 コード番号 7722 URL <http://www.kokusaikk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 繁
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 松本 博司 (TEL) 042-371-4211
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日 配当支払開始予定日 平成26年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	7,773	52.7	1,783	209.2	1,793	198.6	1,139	212.8
26年3月期第2四半期	5,089	12.3	576	193.7	600	490.9	364	554.8

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 1,293百万円(119.3%) 26年3月期第2四半期 589百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	81.33	—
26年3月期第2四半期	26.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	18,952	9,104	47.8
26年3月期	17,080	8,189	47.7

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 9,061百万円 26年3月期 8,144百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	20.00	—	27.00	47.00
27年3月期	—	25.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	30.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,500	10.9	2,700	27.6	2,700	19.1	1,560	16.7	111.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 社(社名) 、 除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	14,200,000株	26年3月期	14,200,000株
27年3月期2Q	184,556株	26年3月期	184,556株
27年3月期2Q	14,015,444株	26年3月期2Q	14,015,444株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	12
生産、受注及び販売の状況	12

※ 当社は、以下のとおり説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

・平成26年12月2日（火）……機関投資家・アナリスト向け決算説明会

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、主力取引先である中国及び東南アジアの自動車及びタイヤメーカーを中心とした設備投資が、前連結会計年度に引き続き堅調に推移いたしました。その一方で、国内自動車関連メーカーの設備投資につきましては、低燃費エンジンや燃料電池・電気自動車等、環境や省エネに配慮した研究開発分野への集中が依然として続いております。

このような環境のもと、当社グループは、前連結会計年度に引き続き堅調に推移している中国・東南アジアの自動車・タイヤ関連メーカーの設備投資情報を的確に入手し、現地での積極的な営業活動を展開して受注実績に結び付けてまいりました。また、前連結会計年度に竣工した本社第三工場において研究開発用の電気サーボモータ式振動試験機の内覧会を実施し、当該試験機の営業にも注力いたしました。当第2四半期連結累計期間においては、中国をはじめとするアジアのタイヤメーカーから、生産ライン向けタイヤ関連試験機を中心に102億3千8百万円（前年同四半期比5.2%増）の受注を獲得いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、77億7千3百万円（前年同四半期比52.7%増）、営業利益は17億8千3百万円（前年同四半期比209.2%増）、経常利益は17億9千3百万円（前年同四半期比198.6%増）、四半期純利益は11億3千9百万円（前年同四半期比212.8%増）となりました。

売上高につきましては、中国の中堅タイヤメーカーへの生産ライン用タイヤ関連試験機の納入が堅調に推移したことや、当社グループの海外取引における主たる決済通貨である米ドルの為替相場が円安ドル高に推移したため、前年同四半期と比較して大幅に増加しております。

利益面につきましては、タイヤ関連試験機の原価率が改善し売上総利益率が上昇したことや為替差益の発生により、デリバティブ評価損や輸出増による運賃などの増加を吸収したため、前年同四半期と比較して大幅に増加しております。

セグメントの状況は以下のとおりであります。

〔日本（国際計測器株式会社）〕

前連結会計年度に引き続き、中国をはじめとするアジアの中堅タイヤメーカー向け生産ライン用タイヤ関連試験機が目標を上回る受注を獲得いたしました。その結果、売上高は同タイヤ関連試験機を中心として67億5千0百万円（前年同四半期比71.6%増）、セグメント利益（経常利益）は20億6千7百万円（前年同四半期比163.5%増）となりました。

〔日本（東伸工業株式会社）〕

前連結会計年度に本社の移転を完了し、新工場での本格的な稼働を開始いたしました。当第2四半期連結累計期間は、主力製品である金属材料の高温強度試験装置を中心に受注しておりますが、海外向けの大型案件の納入は第4四半期以降を予定しております。その結果、売上高は1億7千5百万円（前年同四半期比48.6%減）、セグメント損失（経常損失）は9千1百万円（前年同四半期は3千8百万円の損失）となりました。

〔米国〕

自動車及びタイヤ関連メーカーからのバランスシグマシンの受注は前連結会計年度に引き続き堅調に推移いたしました。その結果、売上高は5億7千5百万円（前年同四半期比12.2%増）、セグメント利益（経常利益）は2千6百万円（前年同四半期は3千2百万円の損失）となりました。

〔韓国〕

当第2四半期連結累計期間において自動車及びタイヤ関連メーカーからの受注が堅調に推移したことや、当社グループからの製造委託が大幅に増加いたしました。その結果、売上高は12億5千4百万円（前年同四半期比88.3%増）、セグメント利益（経常利益）は1億6千8百万円（前年同四半期比43.9%増）となりました。

〔中国〕

中堅タイヤメーカーからの生産ライン用タイヤ関連試験機の受注は堅調に推移しております。その結果、売上高は4億1千6百万円（前年同四半期比9.1%増）、セグメント利益（経常利益）は5百万円（前年同四半期比54.1%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、136億3千2百万円（前連結会計年度末比18億4千7百万円増）となりました。これは、売上債権が回収されたことにより受取手形及び売掛金が減少（前連結会計年度末比14億5百万円減）したものの、売上債権の回収や前受金の増加により現金及び預金が増加（前連結会計年度末比20億3千5百万円増）したことや受注残高の増加により仕掛品が増加（前連結会計年度末比11億8百万円増）したことが主たる要因であります。

②固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、53億1千9百万円（前連結会計年度末比2千3百万円増）となりました。これは、株価の上昇により投資有価証券が増加（前連結会計年度末比5千2百万円増）したことが主たる要因であります。

③流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、78億8千0百万円（前連結会計年度末比12億4千8百万円増）となりました。これは、仕入の増加により支払手形及び買掛金が増加（前連結会計年度末比8億6百万円増）したことや受注の増加により前受金が増加（前連結会計年度末比2億8千3百万円増）したこと、並びに運転資金の調達により短期借入金が増加（前連結会計年度末比2億6千5百万円増）したことが主たる要因であります。

④固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、19億6千7百万円（前連結会計年度末比2億9千1百万円減）となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金に振替えたことにより長期借入金が増加（前連結会計年度末比3億3千2百万円減）したことが主たる要因であります。

⑤純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、91億4百万円（前連結会計年度末比9億1千4百万円増）となりました。これは、四半期純利益を計上したことにより利益剰余金が増加（前連結会計年度末比7億6千1百万円増）したことや円安ウオン高などの影響により連結子会社の為替換算調整勘定が増加（前連結会計年度末比1億1千5百万円増）したことが主たる要因であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローについては、営業活動により23億7千5百万円増加し、投資活動により6千1百万円減少し、財務活動により5億2千1百万円減少した結果、現金及び現金同等物は前第2四半期連結累計期間に比べ21億3千0百万円増加し、46億8千8百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、23億7千5百万円の収入（前年同四半期比12億7千3百万円の収入増加）となりました。これは、受注残高の増加によるたな卸資産の増加により11億3百万円の支出となったものの、税金等調整前四半期純利益を17億9千3百万円計上したことや売上債権の回収により14億1千8百万円の収入となったことなどによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、6千1百万円の支出（前年同四半期は1億4百万円の収入）となりました。これは、満期が到来したことにより定期預金の払戻による収入が3億5千3百万円あったものの、資金運用のために定期預金の預入による支出が3億6千6百万円あったことなどによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、5億2千1百万円の支出（前年同四半期比3億4百万円の支出増加）となりました。これは、長期借入金の返済による支出が4億7百万円あったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年5月15日に公表いたしました平成27年3月期通期の連結業績予想につきましては、変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,234,239	6,269,515
受取手形及び売掛金	4,007,776	2,601,800
商品及び製品	289,902	307,823
仕掛品	2,070,209	3,178,764
原材料及び貯蔵品	531,791	557,154
繰延税金資産	288,770	331,021
その他	369,481	390,354
貸倒引当金	△7,223	△3,575
流動資産合計	11,784,948	13,632,858
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,417,269	2,466,695
機械装置及び運搬具	213,479	222,285
土地	1,316,645	1,319,723
リース資産	3,036	3,036
建設仮勘定	3,980	5,814
その他	160,037	173,646
減価償却累計額	△1,092,068	△1,151,895
有形固定資産合計	3,022,379	3,039,307
無形固定資産		
リース資産	1,993	1,727
その他	64,687	63,714
無形固定資産合計	66,680	65,441
投資その他の資産		
投資有価証券	152,402	204,441
長期貸付金	30,282	25,602
繰延税金資産	23,727	26,679
保険積立金	1,812,673	1,804,154
その他	301,111	273,795
貸倒引当金	△113,570	△120,150
投資その他の資産合計	2,206,626	2,214,523
固定資産合計	5,295,686	5,319,271
資産合計	17,080,635	18,952,130

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,538,053	3,344,567
短期借入金	290,000	555,000
1年内返済予定の長期借入金	744,468	670,168
リース債務	1,195	1,195
未払法人税等	834,504	693,082
賞与引当金	142,630	174,079
製品保証引当金	188,400	220,962
前受金	1,453,797	1,737,142
その他	438,823	484,332
流動負債合計	6,631,873	7,880,531
固定負債		
長期借入金	1,746,408	1,413,474
リース債務	3,288	2,690
繰延税金負債	112,904	129,353
役員退職慰労引当金	152,623	157,583
退職給付に係る負債	233,222	253,378
資産除去債務	10,768	10,880
固定負債合計	2,259,214	1,967,359
負債合計	8,891,088	9,847,891
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,023,100	1,023,100
資本剰余金	936,400	936,400
利益剰余金	6,294,092	7,055,502
自己株式	△150,957	△150,957
株主資本合計	8,102,635	8,864,044
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,734	88,825
為替換算調整勘定	△6,291	108,761
その他の包括利益累計額合計	41,442	197,587
少数株主持分	45,468	42,607
純資産合計	8,189,546	9,104,238
負債純資産合計	17,080,635	18,952,130

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	5,089,490	7,773,265
売上原価	3,085,244	4,423,218
売上総利益	2,004,246	3,350,047
販売費及び一般管理費		
製品保証引当金繰入額	122,428	179,061
貸倒引当金繰入額	7,668	1,315
役員報酬	83,670	95,760
給料手当及び賞与	295,969	308,811
賞与引当金繰入額	70,506	65,533
退職給付費用	17,441	16,359
役員退職慰労引当金繰入額	4,800	4,960
運賃	156,014	268,412
減価償却費	17,792	20,532
研究開発費	8,902	2,043
その他	642,293	603,911
販売費及び一般管理費合計	1,427,487	1,566,700
営業利益	576,758	1,783,346
営業外収益		
受取利息及び配当金	20,364	25,873
為替差益	12,001	165,654
その他	33,149	9,968
営業外収益合計	65,516	201,497
営業外費用		
支払利息	15,343	11,897
持分法による投資損失	5,414	10,659
売上債権売却損	3,418	9,952
支払手数料	4,647	17,935
デリバティブ評価損	247	137,926
保険解約損	8,605	2,745
その他	3,920	253
営業外費用合計	41,597	191,370
経常利益	600,677	1,793,473
特別利益		
固定資産売却益	30,181	212
特別利益合計	30,181	212
特別損失		
固定資産除却損	856	590
特別損失合計	856	590
税金等調整前四半期純利益	630,002	1,793,095
法人税、住民税及び事業税	352,141	706,588
法人税等調整額	△92,884	△51,864
法人税等合計	259,257	654,723
少数株主損益調整前四半期純利益	370,745	1,138,372
少数株主利益又は少数株主損失(△)	6,356	△1,453
四半期純利益	364,389	1,139,826

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	370,745	1,138,372
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,256	41,091
為替換算調整勘定	221,788	114,690
持分法適用会社に対する持分相当額	2,294	△1,045
その他の包括利益合計	218,825	154,737
四半期包括利益	589,571	1,293,109
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	578,751	1,295,970
少数株主に係る四半期包括利益	10,820	△2,861

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	630,002	1,793,095
減価償却費	53,572	68,543
持分法による投資損益(△は益)	5,414	10,659
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,537	1,195
賞与引当金の増減額(△は減少)	53,131	30,918
製品保証引当金の増減額(△は減少)	3,725	32,320
退職給付引当金の増減額(△は減少)	26,185	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	19,781
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,800	4,960
受取利息及び受取配当金	△20,364	△25,873
支払利息	15,343	11,897
為替差損益(△は益)	△5,730	△110,686
有形固定資産売却損益(△は益)	△30,181	△212
デリバティブ評価損益(△は益)	247	137,926
売上債権の増減額(△は増加)	897,220	1,418,110
たな卸資産の増減額(△は増加)	△962,029	△1,103,512
仕入債務の増減額(△は減少)	429,864	803,938
前受金の増減額(△は減少)	617,307	234,909
その他	△5,264	△113,701
小計	1,716,779	3,214,271
利息及び配当金の受取額	19,107	22,808
利息の支払額	△16,124	△12,125
法人税等の支払額	△617,993	△849,511
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,101,769	2,375,443
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△319,759	△366,034
定期預金の払戻による収入	509,465	353,150
有形固定資産の取得による支出	△409,405	△61,066
有形固定資産の売却による収入	393,088	251
保険積立金の積立による支出	△102,626	△74,868
保険積立金の解約による収入	31,931	80,641
その他	2,002	6,166
投資活動によるキャッシュ・フロー	104,696	△61,759
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△315,000	265,000
長期借入れによる収入	900,000	—
長期借入金の返済による支出	△592,154	△407,234
配当金の支払額	△209,697	△379,101
リース債務の返済による支出	△597	△597
財務活動によるキャッシュ・フロー	△217,449	△521,933
現金及び現金同等物に係る換算差額	59,754	107,520
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,048,771	1,899,270
現金及び現金同等物の期首残高	1,508,380	2,788,771
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,557,151	4,688,041

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器 株式会社	東伸工業 株式会社						
売上高								
外部顧客への 売上高	3,532,369	341,881	513,141	261,964	278,811	4,928,168	161,322	5,089,490
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	400,451	—	—	404,335	102,923	907,710	20,081	927,792
計	3,932,820	341,881	513,141	666,299	381,735	5,835,878	181,404	6,017,282
セグメント利益 又は損失(△)	784,650	△38,300	△32,943	117,210	11,276	841,893	17,968	859,861

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	841,893
「その他」の区分の利益	17,968
セグメント間取引消去等(注)	△259,183
四半期連結損益計算書の経常利益	600,677

(注) セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が286,905千円含まれております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器 株式会社	東伸工業 株式会社						
売上高								
外部顧客への 売上高	6,394,421	175,814	568,708	366,041	255,887	7,760,873	12,392	7,773,265
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	355,603	—	7,133	888,650	160,589	1,411,977	25,149	1,437,126
計	6,750,025	175,814	575,842	1,254,691	416,477	9,172,850	37,541	9,210,392
セグメント利益 又は損失(△)	2,067,866	△91,003	26,237	168,712	5,177	2,176,990	974	2,177,965

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,176,990
「その他」の区分の利益	974
セグメント間取引消去等(注)	△384,492
四半期連結損益計算書の経常利益	1,793,473

(注) セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が339,728千円含まれております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

区 分	生産高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	6,168,684	+67.6	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	586,674	+53.2	日本(国際)
材料試験機	175,814	△48.6	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	430,139	+19.0	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	412,311	+27.9	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	7,773,622	+52.7	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(2) 受注状況

①受注高

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

区 分	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	7,935,588	+5.6	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	1,055,059	+25.8	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	431,237	△4.3	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	385,384	△23.4	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	431,709	+0.2	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	10,238,979	+5.2	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

②受注残高

当第2四半期連結累計期間末(平成26年9月30日)

区 分	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	11,708,504	+43.6	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	1,561,380	△15.2	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	677,136	+66.8	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	622,215	△16.0	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	87,394	△33.3	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	14,656,631	+30.0	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

区 分	売上高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	6,168,326	+67.6	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	586,674	+53.2	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	175,814	△48.6	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	430,136	+19.0	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	412,313	+27.9	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	7,773,265	+52.7	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。